

## 技術のおたずねにこたえて

【おたずね】最近の家具や民芸品で、塗装してあることがわからないような製品がありますが、どのような塗料を用いているのでしょうか。  
(H社, H生)

【おこたえ】木材を透明塗装するとき、透明塗料で仕上げると、木材を水でぬらした時のようなぬれ色とつやがでるので、塗装してあるという感じに仕上がります。ぬれ色とつやを抑えた塗料としては体色顔料などを混ぜたつや消しの透明塗料があります。つや消しの程度がいくつかの段階に分かれていて、3分、5分、7分つや消しなど目的に応じたぬれ色とつやを選ぶことができます。しかし、つや消し塗料でも、塗装してあることは分かることが多いようです。

ところで、最近白木家具に使われる塗料の中に

は、白色顔料や体色顔料などの添加剤を適宜混ぜてあり、塗膜ができたときに光が乱反射してぬれ色とつやがでず、白木のままのように見えるものがあります。ポリウレタン樹脂塗料、アミノアルキド樹脂塗料の場合は、白木用塗料という名前で売られています。アクリル塗料ではつや消し塗料の日曜大工用のスプレー缶入りのもので白木のままに見えるものもあります。

塗装作業としては、まず木材を 180 ~ 240 サイドペーパーで素地調整した後、ウッドシーラーやサンディングシーラーを塗って下地を作りますが、塗膜を目立たなくするためには、シンナーで希釈して塗膜となる成分を少なくした方が良いでしょう。この上に白木用塗料を塗りますが、やはり薄塗りします。木口などに厚塗りすると、かえって白っぽく濁ることがあるので注意が必要です。

(林産試験場 接着科)